

吉賀中だより

令和7年2月28日
吉賀町立吉賀中学校
(文責: 城市)

令和6年度 学校教育目標

「自他を大切にし、共に自らの可能性を広げる生徒の育成」

新年になり早いものでふた月が過ぎようとしています。雨水(うすい)を過ぎ、暦の上では本格的な雪解けの季節になりました。とはいっても、今冬は寒波が厳しく雪の量が例年以上に多いようです。そんな中、春の気配はないかしらと探している毎日です。今週は気温が上がり始め、少しづつ春が近づいているようですね。

前へ前へ 日々前進

「歳差(さいさ)運動」という言葉を聞いたことがおありでしょうか。歳差運動というのは、物体が回転している際にその回転軸の方向が変化している現象のことをいいます。例えば、コマを回転させたときに回転速度が落ちると、コマの軸の先端はゆっくりと円を描くように運動します。これが歳差運動(首振り運動とも呼ばれています)です。回転している物体に起きる現象ですから、身近で巨大な歳差運動の一つに地球の自転運動があげられます。

地球の地軸は太陽の周りを回る公転軸に対して約23.4°傾いており、地軸の北の先の星を北極星(polar star ポーラスター)と呼んでいます。今は「こぐま座のポラリス」を北極星と呼んでいます。地球の歳差運動の周期は約26,000年。周期が非常に長いので回転軸がいつも同じ方向にあるように見え、北極星はずっとポラリスだと思われがちですが、北極星となる星は地球の歳差運動によりゆっくりと変わっています。ポラリスを北極星としたのは西暦1500年頃、つまり500年くらい前です。今から5,000年前頃(紀元前3,000年頃)エジプトのピラミッドが建造された時代の北極星は、「りゅう座のツバメ」でした。クフ王のピラミッドは、ツバメを北の方向として作られていたのです。逆に、今から12,000年の後には、北極星は七夕伝説で織姫(おりひめ)として知られる「こと座のベガ」になります。大きな宇宙的な時間の流れの中で見てみると、ロマン溢れゆったりとした変化を味わえるようにも感じます。小学生の頃に北極星はポラリスと習った私は、高校生になるまで北極星は変わらないものだと信じていました。確かに私の人生の内には変わりません。しかし、天空という一見変化がないように思えることでも、私たちの想像を遥かに超えた時空の中では間違いなく大きな変化が起こっています。

変化ということについては、人間も同様です。私は常々「人間は変わらずにいることができない」と思っています。つまり、何かしらのちょっとした変化や成長が日々起こっています。今が最高だと最低だと、今起こっていることで一喜一憂するのも大切ですが、今と同じことが永遠に続く訳ではなく必ず変化していきます。そうであるのならば、少しでも良い方向への変化や成長が起こるように備え、例え今が辛くとも決して諦めずに信じて歩んで行くしかないと思います。昨日よりも今日、今日よりも明日。例え1センチでも1ミリでも、前へ前へと日々前進しながら成果を積み重ねて変化し続けていきたいものです。

学校評価について

本校における教育活動その他の学校運営の状況について自己評価を行い、その結果を学校評議員会において学校関係者評価を行っています。自己評価は、昨年末に保護者・生徒・教職員によるアンケートを実施しその結果を集計しました。保護者の皆様にはアンケートにご協力いただきありがとうございました。今年度は、1豊かな心、2確かな学力、3生徒指導の充実、4開かれ

- めざす生徒像**
- 誠実な生徒 **[誠実]**
 - 自ら行動できる生徒 **[自主]**
 - 新たな表現のできる生徒 **[創造]**
 - 学び合い高め合う生徒 **[連帯]**



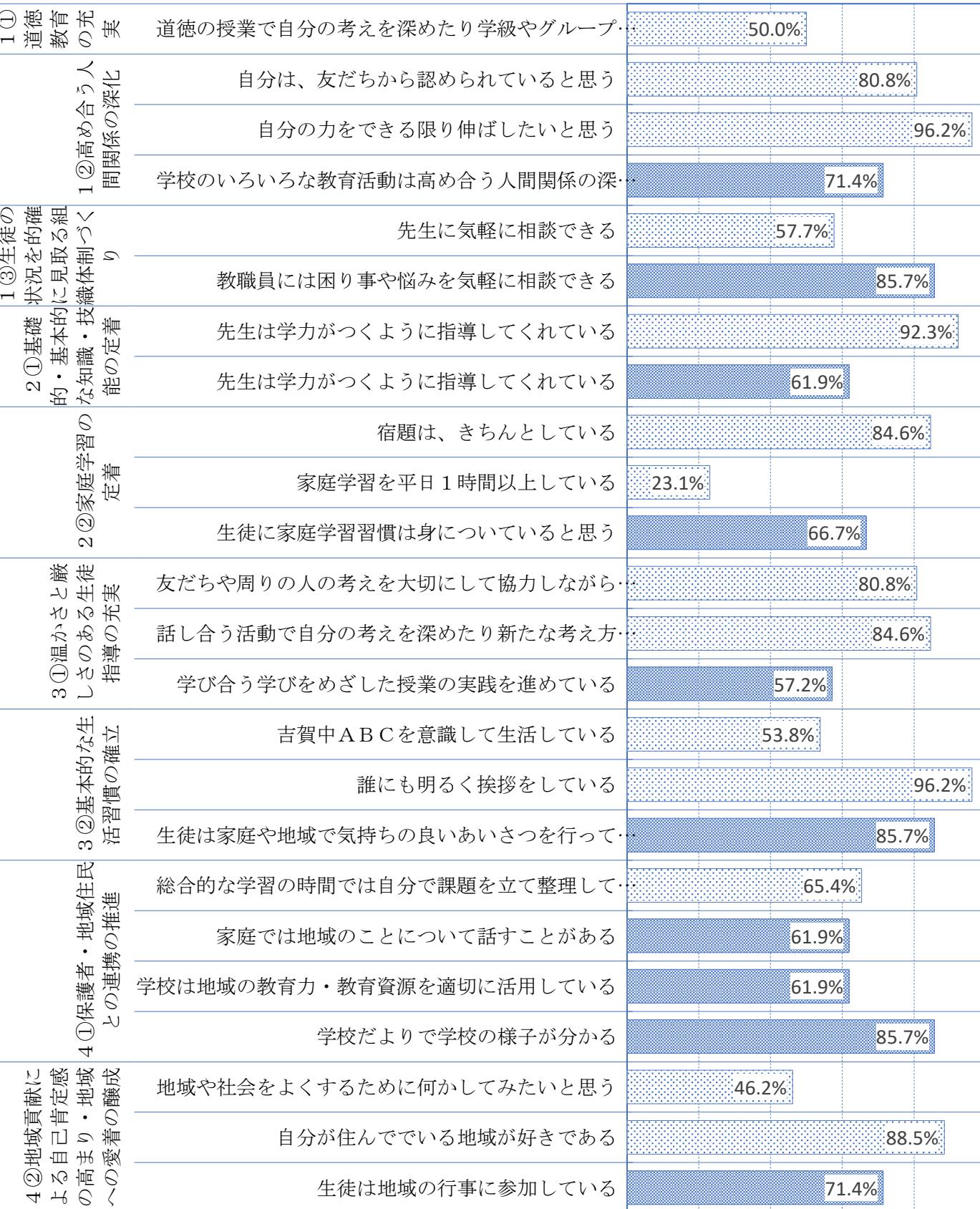
吉賀中学校だより 令和7年2月28日

た学校の推進、の4点を大きな柱とし、それぞれの目標に対してより具体的な短期目標を定めて取組を進め、自己評価を行いました。アンケートの集計結果を以下に掲載します(項目が多く見づらいですがご容赦ください)。また、この集計結果を元に先般2月13日(木)に学校評議員会を開催し評価・コメントをいただきましたので、今後の改善策などと併せて掲載します。

生徒
保護者

自己評価結果(肯定的割合)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



1①『道徳教育の充実』について

道徳に限らず生徒は自分の考えを表出する際に、間違うことを恐れて不安になる傾向が強いようと思われる。平素から自分の考えを表出する機会を増やすと共に、学年部を超えた協力体制を作り道徳教育の充実を図りたい。

1③『生徒の状況を的確に見取る組織体制づくり』について

表面上の言動だけでなく「その言動の裏側には何があるのか」ということも意識しながら生徒と関わる。また職員会議、主任者会、生徒指導部会、学年部会等で情報を共有し統一した支援・指導を進めていく。生徒自ら自分の気持ちや考え、意見を表現する主体的な行動力に発展させていきたい。

2①『基礎的・基本的な知識・技能の定着』について

全教科による学び合い活動を推進する取組が不十分であった。生徒会活動、学活、道徳等と連携しながら、授業での学び合い活動を推進していく。学習指導要領に則り「主体的で対話的で深い学び」を更に推し進めて行くことが必要である。

2③『家庭学習の定着』について

定期テスト前の公民館での学習会に今年度は生徒の参加がとても多い。学校から出された課題だけでなく自分に必要なテスト準備や勉強をしてみて欲しい。生徒は家庭学習の習慣化は意識しているが、有用性や充実感をより高める働きかけが必要であった。また、全教員で個々の生徒の家庭学習に対応することができたので、家庭学習の内容の充実の手立ても工夫していきたい。

3①『温かさと厳しさのある生徒指導の充実』について

支援・理解・指導のつながりと一体感をもった生徒指導の充実を一層図る必要がある。研究部と連携して学び合う学びの推進を図り、誰か1人だけでなく全体で取り組み生徒同士の関係性と学力の相乗効果をめざしていきたい。

4①『保護者・地域住民との連携の推進』について

いろいろな場面でよく出会う生徒には声をかけやすいが、あまり出会うことのない生徒には声をかけて良いものか悩むこともある。コミュニティスクールを進めて、地域と学校が共に生徒の育ちをしっかりと見つめていくと良い。学校公開日や学校・学級通信を活用し、日々の生徒の学習内容や生活を保護者や地域に対し一層「見える化」を進めていきたい。

4②『地域貢献による自己肯定感の高まり・地域への愛着の醸成』について

中学生は地域のイベントや活動によく参加してくれている。成長するに従ってしっかりしてきるように見える。反面、自分の意見を人前で言いたがらない中学生も増えている。生徒会を中心となり、結プロを充実させていきたい。

その他のご意見やご感想について

○欠席連絡をマチコミでできるようにして欲しい。

⇒保護者からの確実なご連絡をしていただくために電話での連絡をお願いしています。職員の勤務は8:05からですが、7:40には誰かが必ず職員室にいますので、しばらくは現在の方法でお願いいたします。なお、今後電話以外の方法を模索していきたいと考えています。

○地域の行事にもう少し中学生の姿があるといいなあと思います。部活動の練習や試合もあるので仕方ないのかなと思いました。

⇒学校単位での休日等の地域行事への参加は難しいです。そのため現在は個人やボランティアでの参加を促しています。今後も一層の呼びかけを行っていきたいと思います。

○あるクラスだけストーブがないようなので図書室にみんな集まっているようです。教室にもストーブを置いてもらいたいと思います。

⇒教室では10月下旬からエアコンを稼働していましたが、その後図書室にはエアコンがないためブルーヒーターを設置し稼働しました。教室がエアコンだけでは十分に暖まらない気温になると共に、全クラスにブルーヒーターを設置し稼働していますのでご安心ください。

○学校と関係のない質問に意味があるのでしょうか。

⇒地域行事への参加についてでしょうか？来年度より吉賀町教育委員会はコミュニティスクール（以下CS）という、学校を地域の中の学校と位置づけ地域と一体となった学校づくりの導入を順次考えています。現段階で本校は来年度からのCS導入は計画していませんが、いずれCSを導入することになりますので、地域との連携やつながりを意識していくために質問項目に入れています。

○生徒間で良好な人間関係をどのようにつくろうとしているのか。教員が見て見ぬふりをしている実態を聞きます。公平な指導がされているのかを感じことが多いです。

⇒見て見ぬふりや不公平な指導がありましたら大変申し訳なく思いますし、直ちに改めたいと思います。遠慮なくご来校いただきお話を伺いたいと思います。なお、個々の生徒の個性や特性、状況に対応した指導を行っていますので、そのことはご理解いただきたいと思います。また、生徒間の良好な人間関係づくりには、本校ならではの「学び合う学び」を通して互恵的な関係づくりへの取組を始めたところです。試行錯誤をしながらの研究ですので、これからのお進歩状況をご覧いただきたいと思います。

○保護者アンケートが記名になった意図は何ですか？正直な思いを伝えにくい人もいるかと思います。その配慮がなく、学校の都合と感じています。

⇒事前に記名式にしたことの説明をしていませんでしたので申し訳なく思います。今回記名式にしたのは、紙媒体では回答ができない事情の方がおられ、電子媒体と紙媒体の双方を利用する上で重複を避けるために行いました。学校の都合？ではありませんのでご安心ください。

○ICTの活用について、他の学校との差が出ているようで気になります。

⇒現在本校では、全校生徒が持ち帰る或いは全員が授業で使用することができない事情があります。そのため活用内容が限定されていますが、できる範囲での活用を進めているところです。今後も様々な活用の推進を図っていきたいと思います。

○生徒全体に教育が行き届いていてとても良いと思います。今後も継続していただくようお願いします。

⇒ありがとうございます。現状で良しとせず、今後も様々な教育課題の解決に向け取組を続けていきたいと思います。今後もご理解・ご協力をお願いいたします。

様々なご意見やご感想をありがとうございました。

2024年度 第32回島根県版画展 受賞

(校内に展示しています)

◇優秀賞

さん(3年)

おめでとう！



◇優良賞

さん(3年)

さん(3年)

さん(3年)

◇佳作

さん(3年)

さん(3年)

さん(3年)

さん(3年)